opusdei.org

## ホセマリア・エスク リバーについての各 地でのコメント

オプス・デイ創立者について の枢機卿様、司教様のコメン トをご紹介いたします。

2004/01/22

ョアキム・マイスナー枢機卿、ケル ン大司教

ケルン大聖堂、1月9日

「列福、列聖は教会の共有財産になった聖人方を一般に広く公開する

ことです。福者ホセマリアは永遠に 創立者です。でも、私たち全教会の ものです。だからこそ、私たちの福 者はもうすぐ列聖され、私たちもオ プス・デイに属する信者とともに喜 び合えるのです」

ノルベルト・リベラ枢機卿、メキシ コ総大司教

グァダルーペ大聖堂、メキシコ(1 月9日)

 認され、尊者と宣言された日も同じ でした。

セラフィン・フェレイラ・ダ・シル バ司教 (レイリア・ファティマ)

ファティマ、御出現の小聖堂(1月 12日)

「1945年以来ホセマリア・エスクリ バーが何度も訪れたこの御出現の小 聖堂で記念ミサを司式できることを 光栄に思っています。ホセマリア・ エスクリバーは、この聖地を訪れた 巡礼者のうち初めて列福された方で す。2002年の間に列聖式があるよう 期待しています。師は内面に強さを 秘めた方でしたが、その強靱さは ファティマ、グアダルーペといった 様々な聖母大聖堂への訪問から得て おられました。この地においてもそ うでしたが、聖母に神の御旨が成就 されますように、聖母の御助けを 得、聖霊に自分自身を委ね、御子、

永遠の御父を通して御旨が成就しま すようにと願っておられたのです」

ホアン・ホセ・オメーヤ司教 (バル バストロ・モンソン)

福者ホセマリアの生地バルバストロ (1月9日)

アンソニー・グブジ司教 (エヌグ、 ナイジェリア)

エヌグ (1月9日)

「オプス・デイの発展は、信仰と愛の実りであり、福者ホセマリアが神の御旨に全面的に自分を捧げ尽くしたおかげです。オプス・デイ創立者は、キリストの模範に従い、人々の救いに生涯を捧げ尽くしたのです。ですから、もうすぐ聖人方の一人に数えられることでしょう」

カミーロ・ルイニ枢機卿(ローマ、教皇総代理)

聖エウジェニオ大聖堂、ローマ(1 月9日)

「沖に乗り出せ。この観点から見ると、福者ホセマリアの精神は第三の千年期に分け入る鍵となります。福者の著作と生涯から教皇聖下が全教会に示された第一で根本的な『司牧上の優先課題』、つまり聖性という視点を見失わないよう適切に導いてくれます」

ジュセッペ・コスタンツォ大司教 (シラクサ)

聖心の教会、シラクサ(1月18日)

「福者ホセマリアの生涯は実り豊かでした。一体どんな秘訣があったがあったは、中でしょうか。それは、中でもに全面的に全面がませたでしょうった使命に全面がよれば、本世ではいるとです。まれた兄弟への奉仕であるとなってするとなってす。そことなのです!

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/hosemariaesukuribanitsuitenoge-didenokomento/ (2025/11/21)